

主 文

本件抗告を棄却する。

理 由

本件抗告の趣意は、違憲をいう点を含めて、すべてその実質は単なる法令違反の主張であり、刑訴法四三三条の抗告理由にあたらぬ。

なお、同法四三〇条二項にいう「職務執行地」とは不服のある処分が行われた地と解すべきであるから、原決定が本件準抗告は管轄のない裁判所に申し立てられた不適法なものであるとしてこれを棄却したのは、相当である。

よつて、同法四三四条、四二六条一項により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和五四年四月三日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	戸	田	弘
裁判官	団	藤 重	光
裁判官	藤	崎 萬	里
裁判官	本	山	亨
裁判官	中	村 治	朗